

## ウランバートル市における障害者の社会参加促進

### プロジェクト(DPUB)

### ニュースレター第20号

#### 障害と教育、尾木直樹先生の訪問 (2018.10.15)

モンゴルの皆さんには馴染みが薄いかと思いますが、日本では教育評論家として著名な「尾木ママ」こと、尾木直樹先生がDPUBオフィスを訪問してくれました。事前にブログやビデオを拝見し、本も2冊購入し、準備万端で向かえたはずですが、、、いざ目の前にすると緊張しますね。あまり話せませんでした。でも最後に「とても勉強になりました」と仰って頂き、少しほっとしました。ただ正直にいうと我々の方が多くを勉強させて頂き、特に「臨床教育」に関する話が印象的でした。教育研修者の多くは、研究はしても実践はできず、教育現場と研究に乖離があったそうです。そこで先生は、教育理念の実践を心がけ、研究と実践を結ぶ架け橋になりたいと、臨床教育研究所「虹」を設立したそうです。ただ実践って、そうとう難しいのでは(?)と思ったのですが、先生はこれまで様々な学校を訪問し、授業を行い、手本を示してきたそうです。問題のあるクラスが、尾木先生の授業を通して問題にならなくなる。悩みを抱える教員にとって、その実践から得られる教訓は多いと思いました。障害分野も理念や研究だけでなく、しっかりとした実践と政策があって初めて障害者の社会参加が進むと思います。まだまだ我々には実践の部分が欠けていると考えさせられる一日でした。ただ最後に、尾木先生に障害児親の会で作ってくれたブローチを渡すととても喜んでくれました。先生のラッキーアイテムにゲル・ブローチが加わったことは我々にとっても大きな喜びです。



尾木ママポーズ

#### オド・ゲレル先生、おめでとうございます。(2018.10.10)

「特別教育」と題する障害児の教育に関する本が、私も尊敬するモンゴル教育大学のオド・ゲレル教授により出版されました。我々のプロジェクトは、障害児の教育とは直接関係がないのですが、障害児のことや障害児の教育のこと



オドゲレル先生

についても問い合わせを受けます。その際、参考になるモンゴル語があれば良いと常々思っていたのですが、その願いが今回ようやく叶えられました。障害児への理解やサポート方法は、関係者の間でもモンゴルではまだ十分に知られておりません。本書によって、教育大学の学生はもちろん、特別支援学校の先生や関係者、行政官、家族や親戚、友人など、様々な人に障害児の理解が進めばと思います。多くの方に祝福され、出版された本書は、きっとモンゴルの障害児の未来を変えてくれると思います。オド・ゲレル先生に心から感謝しています。(JICA/DPUBチーフアドバイザー千葉寿夫)

#### JICA DPUBのFACEBOOKページに

「いいね」をお願いします。

おかげさまで、今ではページの「いいね」が3400件に達し、より多くの方に情報を発信できるようになりました。これからも、楽しんでいただけるような投稿を目指して頑張ります。引き続き、宜しくお願い致します。



#### DPUB連絡先

##### Office:

Government Building – 2, United Nation’s Street – 5,  
Ministry of Labor and Social Protection  
Ulaanbaatar – 15160, Mongolia

**Facebook:** <https://www.facebook.com/jicadpub>

##### Website:

<https://www.jica.go.jp/project/mongolia/015/index.html>

**E-mail:** [dpub.jica@gmail.com](mailto:dpub.jica@gmail.com)

## インターンツェツェ の活動日記

10月8日、今日はモンゴル・日本センターで開かれた「情報提供DAISYについて紹介—聞いて読む本を体験しよう—」に参加しました。DAISYとは、Digital Accessible Information Systemのこと。名前の通りDAISYのおかげいろんな人が本を読む楽しさを味わえることができます。私も今日始めてDAISYについて知りましたが、簡単に説明すると本を画像、字幕、音声、動画で読む事ができ、また読んでいる部分の字幕がハイライトされるので、とても分かりやすかったですね。今日参加して下さった方々も実際に体験してみてとても良い、分かりやすいという声が上がっていました。このDAISYはモンゴルに入ってきたばかりですが、本を読む楽しみを障害者を含むすべての人に伝えたいですね。ぜひ本が好きな方、本を読む楽しみを伝えたい方、興味をもって体験して見てください！モンゴル・日本センターにおいてあるそうですよ。そしてDAISYについて広めていただければと思います。



参加者がDAISYを楽しく体験している様子

9月28日はLEAD MONGOLIA で障害平等研修 (DET)を開催しました。以前ビデオで見た事がありました、実際参加して見てとても驚きました。テーマがとても深く一人一人がちゃんと向き合って考え、グループでも話し合いし物事を色々な角度から考えているところがすごいと思いました。また一つのグループに一人のファシリテーターがいらっしゃったので実際話を聞く事ができ、障害や障害者について考え、理解し、また実際実行できるような提案も考えていて素晴らしかったです。私は今回参加して見てこのような研修をたくさんの方に受けてもらえたら、もっと障害や障害者についての考え方が変わるのではないかと思います。最後に参加者からの拍手はすばらしく、感動しました。



DETのグループディスカッション

10月12日。今日は私のJICAでのインターン最終日で、朝から夕方までずっと障害者開発庁セミナーと障害平等研修 (DET)に参加しました。前日にみんなで今日の資料や準備をしっかりとしたので今日のセミナーもDET研修も無事終わることができました。午前中に開発庁セミナーを開き、「ウランバートル市における障害者の社会参加促進プロジェクト」について、また障害児のプロジェクトであるSTARTさんの紹介もありました。参加者のみなさんはとても真剣に聞いて、メモしている様子が伺えました。午後はDET研修を行い、私も今回は参加者として初めて参加しました。やっぱり自分で参加してみるのが一番いいですね。以前も見学した事がありましたが、参加して色々考えさせられ、また実際ファシリテーターと話すことができるので、とてもいい経験になったと思います。また大学生である自分に何ができるのかということについても考えることができました。この研修に参加できて良かったです。インターンツェツェの活動日記はこれで終わりますが、このプロジェクトで研修してたくさんの事を学び、勉強になりました。プロジェクトメンバーの皆様が優しく、面白くて、たくさんの事を教えてくれました。ここでの経験や学んだこと、また皆様からのアドバイスを胸に頑張ります。3週間という短い間でしたが、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



最後に皆で記念写真～

### 障害者リーダーや各国政府行政官との交流



千葉チーフアドバイザー

国連で仕事をする最大のメリットは、各国の障害者リーダーや行政官と交流できることかも知れませんが、国際会議の参加者は、皆さんNGOや政府の代表者なので、とても魅力的な方、個性的な方が多いです。中でも各国の障害者リーダーとの交流は、私の財産になりました。フィジーなどの太平洋諸島、インドやパキスタンなどの南アジア、インドネシア、マレーシアなどの東南アジア、そして日本、韓国、オーストラリアなどの先進諸国など。様々な文化・人・社会を感じました。それら多くの障害者リーダーが、社会環境に問題がある、学校や職場で差別され平等な社会参加が保障されない、哀れみや同情ではなく権利が欲しいと訴える姿も印象的でした。彼らには自信があり、使命があり、そして夢や目標がありました。また多くの行政官や専門家にも刺激を受けました。情報技術の経験はあるものの、障害分野の専門性に乏しい自分は、最初、まったく会議に付いていけませんでしたが。だから上司や専門家の言葉をよく聞き、何が重要で何をしたいのか、会議を通して学んで行きました。そうこうするうちに、自然と障害分野に魅力を感じるようになりました。(つづく・・・)